

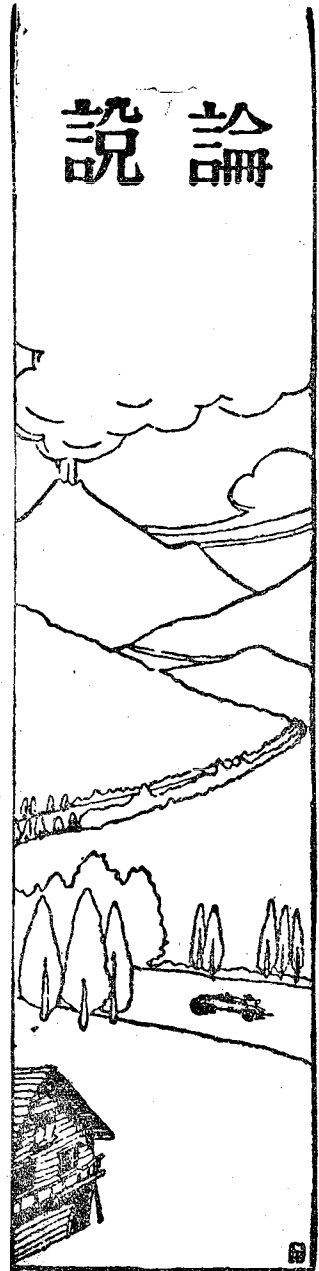
# 論 說

## 道路改良に關する二、三の希望

道路改良會理事  
市政調査會理事

松 木 幹 一 郎

○ 今日道路の改良に關する聲、都鄙に洽ねく、論議に於ても、實績に在つても、着々として進歩の跡を見得ることは、社會經濟の發達、茲に到らしむるものありとはいへ、一に斯の問題に對する先進、先覺の士の熱心にして且つ倦まざる努力の賜であると考へ、多大の敬意を之に拂ふことを躊躇しないのである。乍然大局の上より觀察すれば、今日の狀態尙因より之を以て満足すべきでない、臆を得て蜀を望む譯ではないが、まだ一層の進歩を期し發達を希ふことは止み難いのである。之より數項の問



題を列擧して其主旨を敷衍して見たいと思ふ。乍序茲に道路といふのはみな自動車を走らす道路といふことに局限することをお断りして置く。

○

道路、築造の技術に關すること。自動車の關係を併せて考ふる場合であると、何と言つても道路は都會の幹線道路を引合いに出さねばならぬ。日夕吾人の見聞する實例によつて考ふるに、之を東京市の例に見るも、近來の道路構築殊にその鋪裝は長足の進歩を爲したと云へる。乍然巨細に其部分に互つて之を觀れば、吾人の腑に落ちない點も尙澤山ある。まづ電車の線路の鋪裝詳しく云へば市電氣局の負擔に屬する部分を見てもそれが完全なる状態を呈して居るところは一寸見當らない。これは技術者の設計に遺漏があるためか、また工事擔當者の施工上の不熟練、不注意に基づくものであるか、一概に其何れであるかを断定し去ることは、輕卒であるかもしれないが、少くとも其何れかであることは否むことは出來まい。電車軌道に於ける特種の狀態が若干の困難——鋪裝の安定を妨ぐる——があるかも知れぬが、しかし今日の進歩したる技術上の見地から之が完全に出來ぬといふことは、まづ言へまいと思ふ。右に關して、吾人は嘗てある雜誌の上で、當局者側の説明らしきものを一見したことがあるが、それは不幸にして、疑問を提供する者に對する反抗的氣分に滿ちたる堅白異同の辯らしうしか見えない、つまり誠意の少ない説明であつたのを遺憾とした。虎の門から赤坂に通ずる道路に就て見るも軌道鋪裝の兩側に御影石の一尺計りなるブロックで劃した二列の線がある、その施工

を見ると、コンクリートの土臺の上に砂のクッションを置いて其上に右の石を並べ職工が鋺の柄でコックと之を平面に叩きならべ、すぐモルターを流し込むといふ始末此上を數噸の貨物自動車などが通行して常住の壓力を加へれば間もなく其位置を變じ、角は磨滅し位置は横顛し其跡に間隙が出来て雨水撒水を此處にたゞへ、これがだんくとコンクリートの鋪裝面を毀はして行くといふことになるのが、容易に實見さるゝのである。しかるに此頃右の箇處に修繕を加へて居るのを見ると、工法は従前と毫も變つて居らないやがてまた以前の通りの不規則な状態を現出することと思ふ、此例は隨處に見得るのである。また、軌道間の木塊は浮上つてゐない處は少なく、それに其上が泥濘でうまつて居る有様は見るに堪へない。日比谷より東京驛前を歩行いて見れば説明以上である。其他軌道間の平面の石疊になる鋪裝に至つては、これは寧ろ論外であつて、仕上げて半歳もすれば完全に破損の状態が現出する、當局に經費が幾許あるとしても、よくも不屈不撓でかゝる不完全なる鋪裝を繰返へすものが、こうゆうことが後日電車經濟の困難の大原因になりはしないかと、氣にかゝらざるを得ない。これに就て吾人は當局に希望したいのは、かゝる道路の鋪裝は其出來の際其區間に於て適當なる箇處に、何年何月施工請負會社何々工費若干といふ位な表示を有する棒杭位を建て、置いて毎日此道路を通行する市民一般にも如何に道路の鋪裝が費用を要するものか。またどの位鋪裝が持つものであるかの智識を與へることの便宜とし、また請負者に對しては自然の監督となつて彼等に施工上の責任を感じしむることゝなすべく、當局者自身の反省の一資料とするが宜いと思ふ、今日の様では、ある種の鋪裝が果して何年の生命あるやと云ふことを推定する適確な材料はない、

またそうした記録の仕方でも無いやうである。それは最初の舗装と大小修繕の記録が整頓されて居ないからである。如此有様では東京の真中に於ても、ある種の舗装が全體幾許の費用で出来るか、その維持費は幾何でよいかの算定が出来ない。其結果道路改良に關する重要問題たる經費財源の算定の根本が極めて不安定なるものになるのである。これは今日の進歩した筈の道路技術及管理の上に於て輕々に看過すべき問題ではないと思ふ。

○

次に維持のことに就いて一言したい。日比谷附近の舗道を見ても分ることであるが木塊舗道の上は何時もある大雨の降つた跡のやうで澤山に撒水されてある。塵埃を押へる方法といへば夫迄であるが大體道路舗装の目的の一つは路面に水を溜めぬといふことである。雨が降つても直ぐ乾く而してゴミの少ない乾燥したよい道であるといふことである。木塊道路に最大敵である水をあの状態にして置けば自然の影響は木塊の破損を生じ舗装は頗る短命となるべきは容易い道理である。それをやつて居るのは今の舗道の現状では他より塵埃泥土を持つて來ることが拒けぬ、しかも其持つて來られたものを掃除する方法が容易でない、そこで一方衛生の見地から撒水してウォーターバウンドするのである。それが木塊道路の生命に如何なる影響があらうとも、往來通行にいかにも不便と不愉快があらうとも關するところでないといふ見地からやつて居る様である。つまり主管者が違つて居る結果統一がついて居ないのでないかと思ふ。斯様な次第であるから舗装の維持は西洋の學說や寸法のやう

な譯にはいかない、餘程の費用を見積らねはならぬ、これが皆市民の負擔にかゝつて來るのである、是等は學理の上から見ても實際論から批判しても、どうも説明の出來にくいことである。

○

道路改良に關する行政的施設のこと、現在我國の都鄙を通じて自動車運輸を業とする許可線路の哩數はたしか全國の鐵道總哩數以上に突破して居る筈である、この勢ではこれが二倍や其以上になることは幾年も要しないと思ふ、それほど運輸交通方面の事情は日進月歩である、そこで最早今日となつてはこの道路の行政に就ては鐵道と道路とを並べて否寧ろ一つの交錯した交通網を形作るものとして、その按排消長等を考へ施設の上に若干の協調々和を實現し相互の能率を相俟つて發揚せしむるやうにせなければならぬ、假令ば地方に於て輕便鐵道と自動車路と何れを作るが其地方の經濟の爲によいかと云ふ如き問題は此後のべつに起り得る問題である、しかも今日の狀態ではそれぐの當局者が銘々の一本槍で我田引水の議論をする外ない有様であつて、時勢の進運に副はないこと夥多しい次第である。鐵道會議の外に道路會議があるといふ位なことでは此聯繫と調和はとれぬ、今一步進んだ制度によつて遺憾なきを期して貰ひたいものである、最大切なる道路改良の財源に關する調査及其實現は今日の行政組織のまゝでは其完きを期すること頗る難いといふやうな心地がする。

道路改良の財源に就ては今日は尙大體は一般的に賦課すること、間に合はして居るがだんく

發達を遂げ又其道路の利用が頻繁になると破損も大きく其巨額なる費用は一般人民の負擔などには到底堪へない。そこで、つまりは外國にある例のやうに受益者又は利用者が其負擔に任ずるといふことが大規模に行はるゝことになる。すると第一其費用の算出は極めて正確に近いものでなくてはならないのみならず、其最初の經費と維持費の限界割合等がかなり精密確實に分つて居なければ負擔の不公平や經營上の粗齟を來すことになる。左様な憂ふべき結果を生ずることは事の始に於て極力防止して置かないと延びては事業の發達を阻害することになる。これ等の結果として技術上の見地より現場員の養成が最も急要なることは言を俟たない。宜しく適當の方法を講ずべきである。

要之我國今日の道路改良の技術は最近數年來の努力に依つて殊に鋪裝については長足の進歩をなし其學理的研究の如きは全體或程度の満足點に達し得たこと、思はるゝも、其我國の風土氣候に應じ我國若くは我國に便利なる場所より取寄せ得べき築造材料の調査研究の如き實際的問題に到つては尙大なる餘地があるといひ得る。就中前に述べたるフォーアマンの養成は尙頗る缺けて居るため、工事請負者が設計により施工するに當つて一寸の呼吸で完全になるべきものが不完全に出来るの恨あること尠なくない。東京の如き坂路の多き土地に千遍一律のコンクリート鋪裝を爲して荷物車の走行に勞力と危険を感じしむるが如きは所謂應用の妙まだ到らざるものであつて遠く西洋に行く迄もなく英領香港のピークロードを一見すれば勾配ある坂路を如何に道路技師が取扱つて居るかは容易に分明する。道路改良に關する行政的經營的方面に關しては法規に關する限

りは直輸入的に浩翰なる調査研究もなきにあらざるも是こそ技術者以上に其國の經濟事情、社會的事情にピツタリ合致する様の應用上の變化を存せざれば決して良好案を擧げ得べきにあらず、實際的講究は此方面に於ては技術者のそれと優るとも劣らざる努力を要するのである、殊に我國のよくない習慣の一として綜合研究が誠に行はれにくく、道路は道路、鐵道は鐵道といふことで所謂一本槍的に割據して研究し行政する爲其間の疏通が甘く行かず問題の大局を害すること夥だしいのは注意せねばならぬことである、學術に忠實にして、社會公益の爲に盡瘁せんことを志さず先進有能の人達は宜しく己を空ふして如上の弊竇を避くるの考を以て一念斯道の發達に努め我國經濟生活の最重要素たる此道路問題の切實なる進歩を實現せんことを期圖する次第である、

自動車に關する研究地方の自動車専用道路の設定、其必要及趨勢、其經營等に關する諸多の問題に就ては又他日の機會を以て陳べたいと思ふ、只茲に研究家の注意を促がして置きたいのは近時大阪に於て決行せるタクシーの均一料金制の成功である、此事は自動車の運輸經營の上に一新生面を開いたものであつて、頗る興味ある問題であることを附記する、

◇

×

×

◇